

平成 30 年度 第 2 学期始業式

「校長より全校生徒へ」

25日間の夏休みが終了し、今日から2学期が始まりました。みんなにとって、どんな夏休みだったでしょうか。夏休みに入る前、終業式で私からみなさんに2つのお願いをしたことを覚えているでしょうか。

一つは、事故なく安全に25日間を過ごすこと、もう一つは、「不安や心配」よりも『やる気と自信』に満ち溢れた心と体で、この始業式を迎えるということでした。今こうして、みんなの顔を見ていると、不安や心配よりもやる気と自信に満ちた表情が伺えます。是非、このやる気と自信を継続させて、2学期を過ごして欲しいと思います。

さて、2学期のスタートに当たり、これからの過ごし方ではなく、あえて部活動の意義について話をしたいと思います。今、全道大会そして地区コンクールの報告会がありました。私も応援をするために各会場に出向きましたが、陸上・水泳そして吹奏楽の人たちはそれぞれ力を十分に発揮してくれたと思います。本当にお疲れ様でした。

全道大会をはじめ各都府県大会を勝ち抜いた人たちが、今、全国大会に出場しています。日本の中学生の頂点を目指し、熱い戦いが繰り広げられています。試合ですから、全国の何千・何万という中学生の中で、ナンバーワンは1人(1チーム)だけです。この他は、すべてが敗者です。では、この敗者となった人たちは、全てが負け組なのでしょうか。そうではないですよ。敗者であっても、今までの練習で努力した姿や流した涙は貴重な経験であり、今後大きな力となって発揮されるはず。つまり、本当の勝負は、引退後から卒業までに、どれだけ現役時代に積み上げた力を発揮し結果を残すかです。現役は退いても、部活動は卒業まで続いています。その引退後の結果(生活の仕方)では、全道・全国のNo.1をも超えることができる意味があると、私は思っています。

現役を引退した3年生には、本当の意味で勝者(勝ち組)になってください。そして、1・2年生にその姿を見せて欲しいですし、必ずその姿を1・2年生は、見届けてください。一番の見せ所は、学校生活の全てでありその基盤は、授業です。

1Fホールに掲げられた「試合は、生活。生活は、試合。」この言葉が、全てを物語っています。

3年生のリーダーシップで、137全員が活躍できる2学期にしましょう！！

